

不祥事防止への取り組み

取手市立藤代小学校
校長 吉葉 繁雄

教育は、「信頼」があって成り立つものです。子どもたちを守り、育まなければならない立場にある教職員が、不祥事を起こすことは絶対にあってはならない行為です。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

1 ボトムアップ型のコンプライアンス研修会を定期的実施しています。

不祥事の根絶のためには、教職員の意識が「不祥事を起こす人はごく一部の人だから、不祥事防止は自分には関係ない」「魔がさした」という他人事であってははいけません。教職員一人一人が、「当事者意識」を常にもち、職務遂行できるように、教職員が主体となったボトムアップ型のコンプライアンス研修会を定期的実施しています。

2 定期的にセルフチェックシートを活用しています。

職員会議後や定期的な面談の際に、「信頼される教職員・学校を目指すセルフチェックシート」（茨城県教育委員会）を活用して、教職員として日頃から心がけておきたいことや、自分の意識を振り返るようにしています。

3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し、教職員のコンプライアンス意識の向上を図っています。

県教育委員会や市教育委員会からの不祥事関連の通知文、新聞記事等を教職員で共有しコンプライアンス意識の向上を図っています。一人一人の教職員が、自分自身や自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策等についてコンプライアンス委員会でも検討しています。

4 風通しの良い職場環境づくりに努めています。

教職員のストレスや個人的な悩みが原因で不祥事が起こってはいけません。また、子どもの SOS に早く気づけるように、「違和感の共有」を心がけています。そのために、日頃から教職員間のコミュニケーションを大切にしています。

以上、藤代小学校教職員が、子どもたちや保護者、地域のために一丸となって不祥事根絶に取り組めます。また、自分の学校から不祥事が起こらないように、教職員一人一人のコンプライアンス意識の向上を図ります。さらに、教職員一人一人が、教師としての「誇り」と「使命」をもって教育活動に邁進して参ります。